

・水産環境保全委員会「水産環境における放射性物質の汚染とその影響(平成 24 年 3 月 30 日)」

＜水産環境保全委員会企画シンポジウム＞
「水産環境における放射性物質の汚染とその影響」

企画の趣旨

東日本大震災の大津波により、東京電力福島第一原子力発電所事故が起こり放射性物質による汚染が起こった。その汚染は陸だけでなく内水面、海にまで及び、漁業に大きな打撃を与えている。本シンポジウムでは放射能に関する基礎的知識を確認し、過去の汚染事故をふまえ、現状を概観するとともに、未来を見通し、再生のための論点を明らかにするために企画した。

日時・場所：平成 25 年 3 月 30 日（土）午前 9 時 30 分～17 時 00 分・東京海洋大学
企画責任者：大嶋雄治（九大院農）

プログラム

- | | | |
|-----------------|--|------------------|
| 9:30～ 9:35 | 開会のあいさつ | 水産環境保全委員会 副委員長 |
| 9:35～ 9:45 | 趣旨説明 | 企画責任者 大嶋雄治 |
| 1. 放射能に関する基本的知見 | | 座長 清野通康（海生研） |
| 9:45～10:15 | 1.1「放射性物質の基礎」 | 百島則幸（九大院理） |
| 10:15～10:45 | 1.2「環境の放射性汚染による健康影響」 | 小林泰彦（原子力機構） |
| 2. 福島原発事故による汚染 | | 座長 山田久（水研セ・フェロー） |
| 10:45～11:15 | 2.1「東日本太平洋沿岸域・沖合域における海水・海底土中の放射性核種濃度の時系列変化」 | 日下部正志（海生研） |
| 11:15～11:45 | 2.2「北太平洋全域への福島事故起源セシウム137の拡散：事故後15ヶ月の間にどのように輸送されたか？」 | 青山道夫（気象研） |
| 11:45～12:15 | 2.3「水産生物の放射性物質濃度への影響」 | 渡邊朝生（水研セ中央水研） |
| 12:15～12:45 | 2.4「生物モニタリング手法の確立と長期継続の必要性」 | 石丸隆（海洋大） |
| 12:45～14:00 | 昼休み（午前の部 質問カード回収） | |

3. 漁業と福島原発事故汚染のリスク 座長 川合眞一郎（甲子園大）
- 14:00～14:30 3.1「福島県における水産物放射能汚染の
現状と対応」 五十嵐敏（福島水試）
- 14:30～15:00 3.2「福島第一原発事故による放射線の
健康リスク」 松田裕之（横浜国大）
- 15:00～15:30 3.3「電子商取引システムと連携した水産物放射線
リスク評価」 竹下潤一（産総研）
- 15:30～15:50 休息（午後の部 質問カード回収）
4. 総合討論 座長 大嶋雄治（九大院農）
- 15:50～16:50 講演者全員
- 16:50～17:00 閉会のあいさつ 水産環境保全委員会委員長

問い合わせ先 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科 鈴木直樹
TEL・FAX (03)5463-0565 e-mail naoki@kaiyodai.ac.jp